

教員名	吉原 美那子	所属学科	地域づくり学科
<p>【ゼミでは何を学ぶのか】 私のゼミでは、地域の教育は地域で考える、地域住民が学校を支えていく、地域活性に必要な人材は地域で育てていく、これらの意義や仕組みを考察していくことを主な研究課題としています。教育といっても、学校教育のみならず生涯にわたって学ぶ仕組みづくりを地域政策的観点から考えています。</p>			
<p>【どのように学ぶのか】 ○アピール力、説明能力を養おう ゼミの活動では、まずプレゼンテーション、ディベート、グループ・ディスカッションなどを通して仲間と知識を共有しながら教育の諸問題を多角的に捉えいきます。私は抽象的な論題や課題をより実践的にかつ具体的に解説しながら、学生が専門知識をより深く理解できるよう支援を行っています。 ○フィールド調査へ フィールド調査で実践と課題を学生の目で確かめます。フィールド調査の候補地は国内だけでなく海外も?!とにかく、学生自らの「これはどうなっているのだ?これはどうしてだ?これを明らかにしたい!」というモチベーションを大切に、フィールド調査を計画しています。 ○研究の成果はいかに? 研究の成果はレポートや発表会、DVD制作など。様々な表現方法を習得することもこのゼミの特徴となっています。 ○アカデミック文献購読 教育学だけでなく、社会学、経営学、政治学関連の文献も扱い、幅広い教養を身につけます。4年では卒論につながる論文を数多く読み、みんなで議論します。 ○学んだすべてをここに注入、卒業論文</p>			
<p>【学んだことはどのように生かせるのか】 教育の知識を活かして教員や教育産業へ/培った表現力を活かしてマスコミへ教育も含めた公共政策の知識を活かして公務員へ/教育に関わる専門知識を深めるため大学院へ/他に、毎年、銀行、保険などの金融関係、インフラなどの世界に飛び立っています。</p>			
<p>【おすすめの入門書・基本テキスト】 ◇芹沢一哉、荻上千キ(編)(2009)『日本を変える「知」』光文社 ◇広田照幸、伊藤茂樹(編)(2010)『教育問題はなぜまちがって語られるのか?—「わかったつもり」からの脱却』日本図書センター</p>			
<p>【まだ見ぬ君へのメッセージ】 プレゼンテーションやディベート、グループワークを積極的にやりたい人、様々な価値観を受け入れることのできる人、海外の教育制度に触れてみたいと思う人、大歓迎いたします。一緒に教育を“科学”しよう。</p>			